

人口と世帯数

55年1月31日現在
総人口 13,910人
男 6,927人
女 6,983人
世帯数 3,154戸

広報



たまぐり

第235号

昭和55年 2月15日

(毎月1回発行)



スポーツ少年団
が交流

（鹿行四町が参加）

スポーツを通じて親ほくを深めようと、さる一月二十七日の日曜日に玉造中学校体育館で、スポーツ少年団のブロック交流会が行われました。この日の交流会に参加したのは、町内から玉造西(野球)、羽生(野球)、玉造(相撲)現原(野球・バスケット)の少年団員百人。町外からは、銚田の訪諏(野球・バスケット)、潮来の大生原(サッカー・バスケット)、麻生の行方(剣道)の団員百二十人。午前中は、二人でペアをくみながらの準備運動、そしてそれぞれの少年団の紹介と実技を披露うし、全員でまるく輪になってフオークダンスを楽しみました。午後は少年団対抗による「バッテリーレス」出船入船「などゆかいなゲームを行い、にぎやかな交流会となりました。

わたしたちの代表の顔(新議員紹介).....	2・3
みんなで行く社会教育の集い.....	4
県民集会で飯田さん発表.....	5
西蓮寺で防火訓練.....	6
257人が新成人に.....	7
身障者オリンピック出場決まる.....	8
労災保険に加入を(農・委だより).....	9
おしらせ.....	10・11
くらしの豆知識、出産・死亡.....	12

主な内容

'80/2月号

第一回臨時議会

議長に大場正維氏(泉)を選任

新議会がスタート

改選後初の臨時議会が十一月十一日に招集され、新しい正副議長が決まりました。議長に大場正維氏(泉)、副議長に井川正巳氏(浜)が投票の結果それぞれ選ばれ、議会席順、常任委員会所属の正副委員長等を決め、新議会がスタートしました。



新しくスタートした新議会

新しい議員の初顔合せとなった昭和五十五年第一回臨時議会は、午前十時に議員全員

が出席して開かれました。今議会は特に正副議長の選出が焦点となりましたが、投票の結果議長に大場正維氏(泉)、副議長に井川正巳氏(浜)がそれぞれ選ばれました。

議長に選ばれた大場氏は議員四期目で、以前副議長もつとめたこともあり、その手腕が期待されています。また副議長の井川氏は三期目。なお、総務・教育厚生・経済・建設の四常任委員会の正副委員長及び所属議員等は次のとおりです。(◎が委員長、○が副委員長) (敬称略)

▼総務委員会(六人)

◎曾根康充、○栗原弥寿夫、大場正維、飯島具之、貝塚国男、井野孝夫

- ▼教育厚生委員会(六人)
- ◎関野嘉正、○風間寧規、村松重信、滝崎昇、笹目孟、中野勇
- ▼経済委員会(五人)
- ◎鈴木晃、○高野昭夫、山口恵美子、野原淳一郎、高須三佐男
- ▼建設委員会(五人)
- ◎平間豊蔵、○荒木田盛、根崎貞雄、井川正巳、小島孝次
- ▼小川町外五ヶ町村伝染病隔離病舎組合議会議員(一人)
- 大場正維
- ▼麻生町外一町一村ごみ処理組合議会議員(三人)
- 根崎貞雄、笹目孟、井野孝夫
- ▼鹿行地方広域市町村圏事務組合議会議員(二人)
- 大場正維、中野勇

わたしたちの代表の顔

—新議員紹介—

昨年暮の町議会選挙で22人の新しい議員が誕生しました。今後4年間、わたしたち町民の代表として、明るく豊かな町づくりのためご活躍していただくこととなります。顔写真の下は、席順・氏名(敬称略)・年齢・部落・当選回数(の順)です。



1番 鈴木 晃
58歳 中山⑤



5番 高須三佐男
44歳 浜 ①



4番 高野 昭夫
52歳 西谷③



3番 野原淳一郎
44歳 新田①



2番 井川 正巳
61歳 浜 ③



6番 中野 勇
71歳 羽生④



9番 小島 孝次
51歳 新宿①



12番 関野 嘉正
60歳 根古屋③



15番 平間 豊蔵
54歳 柄貝④



19番 栗原弥寿夫
56歳 捻木③



7番 飯島 具之
50歳 藤井④



10番 井野 孝夫
54歳 沖洲②



13番 山口恵美子
56歳 上宿②



16番 大場 正維
66歳 泉 ④



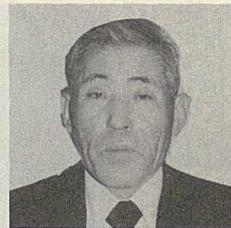
20番 滝崎 昇
53歳 手賀横須賀⑤



8番 根崎 貞雄
62歳 西蓮寺②



11番 貝塚 国男
56歳 浜 ⑥



14番 曾根 康充
62歳 宿 ③



17番 荒木田 盛
70歳 上山④



21番 笹目 孟
38歳 谷島③

“広報アンケート”

にご協力を

～町民500人を対象に実施～

“広報たまつくり”も本月号で235号(19年7ヵ月)をむかえました。記事の提供や取材の協力など、広報活動につきましては町民の皆さんに常日頃お世話になり感謝申し上げます。

広報紙は、町行政と町民の皆さんとを結ぶパイプ役として、月1回発行されておりますが、より一層親しまれる“広報たまつくり”を目ざすため、このたび広報アンケートを実施し今後の広報紙づくりの参考にしたいと思います。アンケートの方法は、選挙人登録名簿から500人を無作為に抽出し、往復はがきで2月8日にお願ひしました。お忙しいところ恐縮に存じますが、ご協力をお願いします。



18番 村松 重信
63歳 新宿④



22番 風間 寧規
55歳 上山③

昨年八月から県の指定を受けて地域総ぐるみの運動を展開している「みんなで行く社会教育の集い（町民会議モデル部落）」の町集会在一月十八日に中央公民館で開かれました。この「社会の集い」は、すでに昨年四月に青少年の非行化防止と健全育成を期して結成された「町民会議」の活動をより活発にし、推進していくために、同じ指定地区を定めタイアップする各町で行われてきました。集会には、指定地区の実践委員をはじめ関係者及び一般の方々三〇七人が参加し、盛況となりました。午前中は事例発表、午後から分科会にわかれて討論に入り、ことし一年間の活動に向けて思いをあらたにしました。

町の集会に307人が参加

西谷地区などが事例発表

「町民会議」結成がきっかけに

「ふるさと」の美しい自然を愛し、すぐれた文化を発展させ、明るく豊かな住みよい郷土を作ろう」と、町が「みんなで行く社会教育の集い」の県指定をうけてはじまったのが昨年の八月。

この社会の集いを、町で行うきっかけとなったのは、青少年の非行化の広域化・低年齢化等に対応するために昨年四月「青少年育成町民会議」が結成され、住民運動の盛りあがり期待されていたとき、その運動を支援し実践にうつしていくには、「社会の集い」

盛況だった「町の集い」



はまさにうってつけというところから始められたものです。

指定地区には、「町民会議」のモデル地区と同じ西谷・宿・泉・浜・沖洲・芹沢の六地区が選ばれました。

治意識を育てお互いの連帯感をふかめることによって、現在みられている青少年非行などの社会の「ひずみ」や「ゆがみ」を地域総ぐるみで解決し、住みよい社会づくり町づくりをめざそうというものです。

根づきつつある総ぐるみの運動

それぞれ指定地区では、昨年十二月までに「青少年健全育成についての話し合い」環境美化作業、「軽スポーツ大会」の三本の柱を中心とした学習計画にそって活動を行ってききました。そこで、その活動状況を発表し合ってことし一年間の活動へのステップとしていくために「町集会」が

〈各地区の標語〉

- 西谷「玉清い西谷の誇り心意気、思いやりのある子を育てよう」
- 宿「ふれあつて心を結ぶ宿部落」
- 泉「あいさつは心の泉、おはよう、こんにちは、さようなら」
- 芹沢「あいさつと感謝の心で人づくり歴史ゆかりの芹沢郷」
- 浜「出がけに一声、気をつけて、心ふれあうおらが浜」
- 沖洲「ひとりひとりのふれあい、大きな輪をなせわが沖洲」

地域の「ふれあい」に成果が

「誰れでも参加できるということ」でたくさんの方が参加し、家族団らんの成果があった（西谷）（沖洲）、「班対抗のソフトボール大会に軽スポーツをからませて行い、各戸平均三名以上の参加者があった」（芹沢）など、「軽スポーツ大会」ほどの地区でも好評で、今まで地区で行う行事に参加しなかった層の人たちをも参加させるという「ふれあい」の場をもつことに成功。

「環境美化活動」については、空カン空ビン拾いと道路集会所などの草刈りを行い、

子供会を中心とした廃品回収もあわせて行い、全部落民が一致協力した総ぐるみの清掃作業ができた」（浜）、「学校の方からも前日に部分清掃するなど協力があり、地区と学校が一体となった活動ができた」（宿）など、地域の課題を自分たちの手でとりくむ

行事ができなかったという反省がされるほどでした。

この学習会は「町民会議」とタイアップして行われたことから成果もあがり、ある地区から「いままでも声をかけたことのない高橋生があいさつした！」という話も聞きました。しかし「盛りあがった

活動が、指定をのぞかれたあとしりつぽみに終ってしまっているのでは？」「ふれあい、レクリエーションをどう青少年育成への自覚まで深めていくか」など、今後の問題点もあがられ、それについては午後からの分科会で熱心に討議されました。

交通教育の充実と末端への浸透

当町からは集会に船串孝雄（浜）、松本孝一郎（西谷）、飯田正義（竹の塙）、飯田祐子（竹の塙）の四人の議員が出席し、飯田正義さんが代表して意見発表を行いました。

知事をむかえて飯田さんから発表

「交通モラル」をテーマに

「真の豊かさ」を求める鹿行地方県民集会在一月二十二日に竹内県知事をむかえて飯田町中央公民館で開かれました。集会には「交通モラルを高めよう」をテーマに各町村から一人ずつ意見発表を行い、当町からは飯田正義さん（竹の塙）が「交通教育のあり方」について発表しました。

県民集会は、住民の立場から地域のなかにあるいろいろな問題について話し合い、その解決策を実践に結びつけ、真の豊かな郷土づくりをめざす

知事から質問も出る「熱つばさ」

今回の県民集会は、鹿行の議員六十名のほか一般の住民が大勢参加し、会場内は満員となりました。「交通モラルを高めよう」をテーマに、現在社会問題となっている交通問題に対して、住民による

実践活動をどうすすめるか」ということで、各町村の代表者の意見発表が行われました。各地域での交通安全対策、事故防止の活動、家庭及び学校での交通安全教育の実例や、いままでの活動の反省、県に対する要望などが発表されました。

なかでも、潮来町の竹内互子さんの発表に、子供たちの安全な遊び場としての「ミニ公園」という言葉がとりあげられ、それについて知事は「ミニ公園」とはどういうことですか。現在の公園がせまいということの意味？」と聞きかえしたり、また、北浦村の福田多恵子さんの「交通安全実践活動のなかで子供たちの登校の際に、交通安全チェックカード」を活用しているとの話に関心を示し、知事からさかんに質問が出るなど熱つばさ集会となりました。



発表する飯田さん

な問題について話し合い、その解決策を実践に結びつけ、真の豊かな郷土づくりをめざす

西蓮寺で防火訓練

1/26の文化財防火デーに

「文化財を火災から守ろう」防署の団員約五十人が参加、と、国の重要文化財の指定をうけている「相輪」「仁王門」をはじめ、貴重な文化財をかかえている西蓮寺で、一月二十六日の文化財防火デーに本格的な防火訓練が行われました。



常行堂前で放水訓練

当日の訓練には、町消防団第一分団第四部と行方北部消防にあたり、その間にポンプ車が出動し、消防署員や団員が常行堂やその周辺に放水し、約三十分間訓練を続けました。文化財防火訓練は、町では今回初めて実施されたもので、普だんは静まりかえっている境内もこの日はけたたましいサイレンの音につつまれました。

文化財防火デーは、昭和二十四年一月二十六日に世界最古の木造建築の法隆寺金堂が焼失し、この日を反省する意味で設けられたものです。わたしたちも、町にあるいろいろな文化財を郷土の誇りとして末永く大切に守りぬいていきたいと思います。

完成待たれる農村集落センター

荒宿地区に新しいコミュニティ形成を目ざし、よりよい生活環境づくりを進めていくための施設となる「農村集落センター」が昨年十二月二十二日に着工し、現在工事が進められています。

建てられる集落センターは、木造及び鉄骨平家建て集居室・生活実習室・和室などからなり、建物面積が二七二・四四平方メートル、約二千三百六十坪の事業費をかけてことしの三月三十一日完成の予定となっています。集落センターが完成すると、現在の老朽化した集会所にかわって、荒宿地区の方々の研修・冠婚葬祭などを行う場として総合共同集会施設となるばかりでなく、生活環境の改善をはかり新しい意識を計画的に育てる拠点として重要な役目になることにもなります。

雨にたたられた出初式



新春恒例の町消防団出初式が、一月十三日(日)に玉造中学校で行われました。ことしはあいにくの雨模様のため、会場をグラウンドから急きよ体育館に移して行われました。規律・機械器具の点検を省略した簡単な出初式となり、式上消防功労者の表彰が行われ、次の方々が表彰を受けました(敬称略)

▼日本消防協会長表彰伝達 分団長 小貫実

▼町長表彰 第一分団第四部 第三分団第三部 第五分団第四部

○優良団員の表彰(消防ポンプ操法競技大会に通算三回以上優勝経験のある者) 郡司進、石川重雄、齋藤眞一、金塚博、柳瀬勝吉、成島忠行

257人が新成人に

二十歳を祝って「新成人のつどい」が、一月十五日の成人の日、中央公民館で開かれました。ことし、当町で成人式を迎えた若者は男百三十一人、女百二十六人の二百五十七人です。



当日中央公民館で開かれた「つどい」には百七十七人が出席し、大人としての自覚と喜びを新たにしました。会場内はあざやかな晴着でつまれ、簡素化のかけ声とはうらはらに、はなやかにさばりか目につきました。

私たちと原子力

原子力モニター 荒井千代

原子力とは、むずかしい言葉であり数式や科学式でなければ親しめない、はては私たちが関係のないものであると解釈してしましました。東海村に「原子の火」がともされてから二十数年、大洗の動燃所の前を通っても、専門技術による科学の世界のことと、た

だく見つめるのみでした。原子力は、そのエネルギーと放射線の利用によって幅広い分野で私たちの生活に役立つていそうです。二十年前までわが国の電力は、その半分以上を水力でまかなっていたことですが、その後の電力の増大なる消費により現在では石油火力によるものが六〇パーセントにもなり、近年世界的に石油が入手困難となつてきて石油にたよった火力発電に大きな期待をもつこ

新年初顔合せ会行わる

ことしも恒例の「新年初顔合せ会」が、一月八日に中央公民館で開かれました。

町に住む、ほとんど役職につかれています。親ばくを深めながら今年一年間の活動に新たな気持ち

とができないという状況のこと。

その石油に代わるエネルギーの主役は、今いちばん現実的なものとして原子力による発電が、すでに全体の約一二パーセントに達していて永遠のエネルギー資源として今後より一層の拡大が期待されています。

なお、本県に原子力安全対策委員会の発足を見られるということは、従来からの国への依存型から脱皮した原子力



のぞもうと開かれたものです。発起人には、坂本常蔵・石川実、出沼忠義、加固進の四氏がなり、当日は町議会議員をはじめ、農業委員、区長、消防役員及び各種団体や機関などの役員百三十五人が出席し、盛大に行われました。

公民館俚謡講座

宿題「広」詠込み

とんだあの夜の相合傘がいやに広がる人の口 瑞羊我
広い此の世をのんびりゆこ
う 寿命延びます 皺迄も 本沢治水
様の心は太平洋よ 心ひろ
びろ底しれず 長谷川かもめ
五十五年も平和に明けて
空に広がる初日影

成島けんじ
米寿祝って孫子が集い 笑
顔こぼれる大広間 男庭令音
都会暮らしの孫等がくれば
翔んでよろこぶ広い庭 男庭翠峰
二十歳晴着の中広帯が 乙
女心を引き締める 成島正花
白い末広高々挙げて 孫の
結婚祝う舞 橋本まさお

宿題「狭」詠込み

女心の切ない狭さ 暗い二
ユースに寒い春 鈴の家秋扇
狭い入学天神様へ 絵馬を
ささげて祈る母 成島けんじ
鬨魂みなぎる初場所土俵

狭いばかりの名勝負

男庭翠峰
受験勉強徹夜の伴 母も気
をもむ狭い門 橋本まさお
一間暮らしじゃせまくもあ
るが 共に咲かそう愛の花 岡野竹堂
狭い小道で別れた夜を 思
い出させる青い月 長峰幾代
生まれついで依古地の性
が 渡る世間を狭くする 成島青芦

席題「初」詠込み

富士に映いてる初日を拝み
山家なれども果報者 成島正花
派手に飾って積み出す初荷
旗も景気の松の内 長峰幾代
初日拝んだ感激こそが 生
きる若さの度を示す 山口 恒

初め給料先づ仏壇へ 母は
供えて嬉し泣き 成島青芦
長い苦勞の稽古がみのり
晴れて披露目の初舞台 岡野竹堂



身障者オリンピック出場決まる

羽生出身の山口和夫さん

ことしの六月にオランダのアーヘン市で開かれる身体障害者のオリンピック(パラリンピック)に、当町羽生出身の山口和夫さん(二十四歳)が出場することが決まりました。山口さんは下半身不随(重度障害一級)にもめげず、現在社会復帰され、仕事のあい間をみでは出場種目の練習にはげんでいます。

合宿の成果みのり代表選手に

「たいへん幸運だったと思います」と開口一番、山口さんは身障者オリンピック日本代表選手の一に選ばれたこと



役場をおとすれた山口さん(町民課窓口で)

とに笑顔で語ってくれました。身障者オリンピックは、四年に一度開かれる身体障害者のためのオリンピック。開催されるたびに、身体の不自由にもめげず競技する姿に、世界各国から暖かい拍手が送られ、同じ境遇にある人々に

つらさに耐えて社会復帰を

山口さんが重度身体障害者になったのは、昭和五十年一月四日。羽生の実家近くの国道でオートバイに乗っているとき、乗用車と衝突。下半身不随となり、それ以後車いすの生活が続いている。友部の県立リハビリテーションに入所し、つらさに耐えて訓練を続け、そして昨年土浦市の昭和タイプに入社し見事社会復帰されました。現在は自動車免許もととり、タイプも一級の腕前。

スポーツ好きの山口さんは、友部のリハビリではアーチェリーにめきめき腕をつけ、競技に出るたびに好成績をあげ、今回アーヘン大会の代表選手に選ばれる基礎をつくりました。

気がかりは健康管理だけ

一月十六日に、ひよっこり役場を訪れた山口さんに代表選手に選ばれた抱負をうかがいました。身障者オリンピック出場が決まったそうですが、感想は。「そうですね、一生かかったつもりで外国へは行けないだろうし、本当に幸運だと思います。日本全国から約三十名出場するんですが、そのなかで一番重度なんです。私が。ですから、選ばれたっていうことが幸運ですね。」

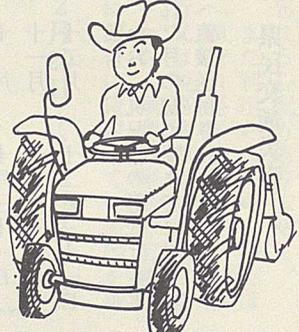
「重度障害者は、現在家にいる方が多いと思うんですが、重度の人でもなにか仕事ができる福祉作業場とか福祉工場とか、そういうものを建ててだれでも働けるような体制をつくってほしいと思います。」

「重度障害者は、現在家にいる方が多いと思うんですが、重度の人でもなにか仕事ができる福祉作業場とか福祉工場とか、そういうものを建ててだれでも働けるような体制をつくってほしいと思います。」

農業委員会だより

労災保険に加入しましょう。

農業機械の大型化にともない、農業中の事故が年々増えています。一家の働き手を失い、くらしに困っているという例も少なくありません。そこで、農家のみなさんのいのちとくらしを守るのが労災保険の特例加入制度です。この保険は国営ですから補償内容も有利です。あなたも今すぐ加入して生活と経営の安定にそなえましょう。



▼労災保険に加入できる人
動力耕うん機、トラクター、その他自走式農業機械を使用して農業を行う人(機械の所有は個人、共同、借入いずれ



国の進学ローンを

入学金、授業料など学校納付金、受験のための費用等、

- 保証人 一名以上・担保不要
- 返済方法 毎月元利均等返済、又は融資金額の1/3以内でボーナス月増額返済。
- お取り扱い 五十五年一月から五十五年四月までです。で、お早めに。詳しいことは商工会にご相談ください。

- 一〇、〇〇〇円：一八、二五〇円
- 七、〇〇〇円：一七、七五〇円
- 四、〇〇〇円：一七、三〇〇円
- 三、〇〇〇円：一五、四七五円
- ▼農業機械によって農作業災害があつた場合はどのような補償があるのか。
- ①療養補償給付 けがをした場合、なおるまで療養、補償給付(労災指定病院等で無料で診察、薬剤の支給、治療等)がうけられます。
- ②休業補償給付 療養のために入院中または通院加療中であつて、農業機械を使用し農作業に従事できないとき、休業四日目から給付基礎日額の百分の八十に相当する補償給付が受けられます。
- ③障害補償給付 障害があつたとき、身体
- ④遺族補償給付

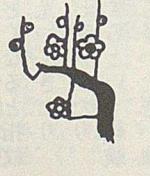
青少年育成町民議へ寄附

「青少年育成町民議会」へこのたび、青少年健全育成のため役に立ててください。寄附がありました。寄附されたのは、鹿島化学工業株式会社(川村公次代表取締役)より三十万円、玉造ロータリークラブ(井川正巳会長)より十万円、玉造ハリケーンクラブ(根本岡一会長)より五万円の計四十五万円。ご芳志に感謝すると



表彰伝達式の様子(1/2)

に障害が残っている場合には、その障害の程度に応じて障害補償給付が支給されます。



十六日より三月十五日まで行われます。決算申告資料のご準備は、おそろいでしようか。お申し込み済みの方は、商工会より指定されました日に、正しい申告資料をお持ちの上ご来館下さい。

おしらせ

国民年金だより
老齢年金の現況届
提出時期が変更

七月	七月三十一日
八月	八月三十一日
九月	九月三十日
十月	十月三十一日
十一月	十一月三十日
十二月	十二月三十一日

一月	提出期限
二月	二月十五日
三月	三月三十一日
四月	四月三十一日
五月	五月三十一日
六月	六月三十日



昭和五十四年度の全加入者の共済期間が三月三十一日で終了しますが、引きつづき加入なさる方の為に昭和五十五年度の加入受付が二月一日より始まっています。

交通事故の恐しさは、身近に接してみればじめて気づくものです。みなさん、ご家族そろって県民交通災害共済に

県民交通災害
共済にご加入を

加入しましょう。

なお、幼稚園児から中学三年生までは学校で一括して全員加入しますので、申込みの際は省いてください。

歳末募金に
六十五万円

「みんなそろって明るいお正月を」をスローガンに歳末助け合い運動を実施しました結果、皆さんの温かいご協力により、六十五万四千七百九十円の募金は、町内の「ひとり暮らし老人」「ねたきり老人」「在宅重度障害者(児)」「要保護世帯」それに病气や施設等に入院入所している方々にお送りしました。

誤配達郵便物の
お願い

郵便受けに入っている手紙があなたあて、あるいはご家族あてのものではなかった場合——誤って配達された郵便物を受けとったときは、お手数ですが、次のような処置をしてくださるようお願いいたします。適当な紙に、誤って配達された旨と受け取られたあなたの住所・氏名を書いて郵便物に張り、ポストに入れてください。

郵便物は、正確に配達されるよう十分な注意が払われていますが、時として誤って配達されてしまうことがあります。道に迷った郵便物を目的地へ届かせるために、みなさん方の協力をお願いします。

(郵便局から)

季節の話題

水仕事は
手装をはめて

冬になると手の指がカサカサに荒れ、ひどくなると指紋がなくなつて光つてきたり、手の皮層にヒビが入ったり、はげ落ちたりするといふ経験をおもちの方も多いと思えます。こんなときにはどうしたらよいのか、またどうしたら手の荒れは防げるかという声も聞かれます。

手の荒れの原因は、おおかたは水仕事で、手の表面を守る脂肪分がなくなるため起こるといわれています。家事にとりくむ女性にとっては、一種の「職業病」ともいえるようです。

東邦大学医学部の石原勝教授らは、動物を使った研究で、水そのものが手の脂肪分をとってしまふことを明らかにしています。手の皮膚の最上層には角層と呼ばれる硬い組織があり、その上を「皮脂」という薄い脂肪分の膜がおおっています。水仕事をすると、この皮脂が取り去られてしまつて角層がじかに外気にさら

(税)の窓

確定申告は
お早めに

昭和五十四年度の所得税の確定申告と納税は、二月十六日(土)から三月十五日(土)までです。期限間近になりますと税務署は大変混雑し、長い時間待つていただくようなことがありますので、お早めにおいでください。



替納税制度が、あります。銀行や農協などに納税額に見合う預金を準備していただくだけで、税金が預金口座から自動的に振替られ、手数料がからず納税を忘れる心配もありません。

まだ利用されていない方は「預金口座振替依頼書」が銀行又は税務署の窓口にありますから「預金口座振替依頼書」に銀行に使用している印を押

春の全国火災予防運動2月29日～3月13日



印し税務署に提出してください。

詳しくは潮来税務所(潮来町延方、電話〇二九九六〇六九三二)へ。

学生を募集します
東京職業訓練短期
大学校

一般工科系短期大学と同等の科学的、技術的専門知識に併せて、実験・実習を一体化した独自の技術技能の訓練を行います。

○期日 四月十三日(日) 午前八時三十分

○会場 玉造小学校体育館

○参加資格 男女とも十五歳～四十歳ぐらゐまで。

○参加費 五百円。

○参加締切 四月十日。

○主催 玉造バトミントンクラブ。

○申込先 いずれも小松崎正行(柄貝) ☎〇八三二か 貝塚武(浜) ☎〇九六七へ

小川西町二二六〇 ☎〇四三二四一(三三二八)へ。

バトミントンクラブ
員を募集

ぶらさがり健康器

最近、ぶらさがり健康器の広告が出ていない日はないくらい、よく宣伝されています。日本体育大の塩谷宗雄教授が、昭和二十五年から三十年にかけて全国の農村の健康指導に歩いたとき、農村に多い腰痛が、腰痛、肩こりの対策として小学校の鉄棒にぶらさがること勧めたのが始まりです。この結果として、「腰痛の治療に通わずにすむようになった」「肩がこらなくなった」「楽に仕事ができるようになった」などの効果が出てきました。

三十秒ほどぶらさがると、曲がっていた背骨がまっすぐになって、X線にかけるとわかります。これは、病院でやる牽引治療と同じ効果なのです。

くらしの豆知識

調味料としての酒

酒類というのは、わが国ではアルコール1%以上を含む飲料で、清酒、合成清酒、しょうちゆう、みりん、ビール、果実酒、ウイスキー、リキュールなどに分けられます。製法では、ビールや清酒などの発酵酒、しょうちゆうやウイスキーなどの蒸留



酒、みりんやリキュールなどの混成酒に分けられます。これらの中で調味料として使用する酒類としては、みりん、清酒、ワイン、ブランデーなどがあります。

調味料としての酒 料理に使うと、食品に風味を与えたり、つやを増したり、おいを消し、さらに材料を柔らかくする効果があります。

例えば清酒は、コハク酸などによるうま味、アルコールによるたん白質の凝固や逆に組織を柔らかくする作用も

あります。また、魚介類の生ぐさみをおさえたり、日持ちをよくするためにも使います。ワインやブランデーの場合、

飲用するばかりでなく、その香りを生かし、西洋料理には欠かせないもので、一種の調味料あるいは香料とも考えられます。みりんの場合、効果は清酒とほとんど同じですが、特にみりんは糖分が多いので、食品に適当な色や香ばしいにおいや、また、つや、照りを出したいときに使うとよいでしょう。酒類を保存するときは栓をよく閉めて、冷暗所に。

休・祭日当番医

2/17	日曜日	方波見	医院	☎50551
2/24	日曜日	根本	医院	☎50538
3/2	日曜日	根本	医院	☎50538
3/9	日曜日	関野	医院	☎60102
3/16	日曜日	埴	医院	☎50044
3/20	春分の日	金塚	医院	☎50556

(診療時間) 午前9時～午後4時まで。

昭和三十八年一月二十三日第三種郵便物認可 定価一〇円

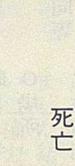
誕生おめでとう



出生

八木	沖洲	若海	浜	藤井	荒宿	宿生	羽生	浜	泉	荒宿	西蓮寺	羽生	浜	若海	藤井	高須	上宿	浜	と
鎌田	秋山	原田	小田	仲田	栗又	林口	山口	荒井	大場	安部	小野瀬	額賀	関口	横田	太田	向山	額賀	中村	石橋
耕司	幹男	正寛	喜美男	和己	純一	守美	長雄	長博	長俊	長四郎	長秀	長美	長幸	長光	長平	長守	長柄	長	長
綾子	知宏	篤士	千春	亜希	貴司	照子	直美	智子	博之	絵美	めぐみ	裕美	沙織	有保	敏正	光明	圭介	赤ちゃん	満

おんやみき



死亡

斎藤	根崎	兼平	貝塚	皆藤	高野	市村	氏名
千三郎	三郎	辰蔵	ゆみ	トミ	定次郎	つや	
八〇	八一	八六	六九	七二	七六	七三	年齢
高須	若海	西蓮寺	浜	芹沢	西谷	泉	と

発行人 茨城県玉造町長 企画商工課 印刷 榊さんゆう社印刷

訂正 先月号出生(11月)の欄で、浜の井川照雄さん(保護者)の長女千代美ちゃんがぬけていました。訂正しておわびします。

編集後記

〇「冬来たりなば春遠からじ」の言葉があるように、寒さはまだ当分続くとはいえ立春も過ぎると、なんとなく気分的に「春が近い」という感じにさせられます。

取材であちこち出あっているも、さほど寒さが気にならず、シャッターを押す手がかじかまないと、暖冬なのかも知れません。

〇「社教の集い」の町集会が行われました(四ページ)。各地区の報告を聞き「今まで、これほどの活動があったらどうか」と、盛り上がりかひしひしと感じられ、この輪が大きく広がってほしいと思いました。

〇広報アンケートを実施します。みなさんに親しまれる広報紙づくりの参考にしたいと思っております。是非ご協力くださるようお願いいたします。